

第3章 計画の基本理念・基本目標

1 基本理念

価値観の多様化に伴い、結婚に関する意識やライフスタイルが変化し、晩婚化や未婚化が進み、出生数が低下し、少子化が進んでいます。

将来にわたって社会が発展するためには、明日を担う子どもたちが、心豊かに、健やかに育つ環境をつくることが大切です。

子どもたちは私たちにとってかけがえのない宝です。子どもは人類の未来であり、子どもを育てることは未来の社会の設計そのものであり、私たち大人にとって喜びでもあります。

しかし、子どもたちの育ちや子育ては、今、大きな問題を抱えています。これは子どものいじめや不登校、非行などの問題行動や子どもを育てる親の不安や悩みとして現れています。これらの課題は、父母その他の保護者だけが子育てを担うのではなく、子育てに関わっている全ての者が自分の問題としてとらえ、地域社会全体で共に支援していく体制づくりが重要であり、子どもが健やかに育つ環境づくりを総合的に進めて行く必要があります。

このことから、

「子どもが 親が 地域が 育ち 子育てに喜びを感じるまちづくり」

を計画の基本理念とし、施策を展開していきます。

2 基本目標

本計画の基本理念の実現に向けて、次の3つの基本目標を掲げ、総合的な施策の展開を図ります。

子どもが健やかに育つ環境づくり

すべての子どもは、いかなる差別もなく、生命と権利を尊重され、笑顔で幸せに成長する権利があり、子どもの最善の利益が実現される社会を目指する必要があります。

また、子ども自らの「育つ力」も大切にする必要があります。

そのため、子どもの自立心や社会性を養い、思いやる心を高めるとともに、自然とのふれあいの機会や多様な体験の場などの提供により、広くすべての子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

核家族化の進行などにより、子育てを学ぶ機会や近隣との繋がりが希薄化し、子育てに対する不安や孤立化といった問題が生じています。

また、社会環境の変化や価値観の多様化などに伴い、子育て支援に係る親のニーズも多様化しており、そのニーズに対応する必要があります。

そのため、子育てに対する不安、孤立感を和らげることを通じて、親が自己肯定感を

持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育ての喜びを味わい、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。

家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり

家庭における養育機能の低下や子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、子育てを個人や家庭のみで解決されるべき問題として捉えるのではなく、社会全体の問題として捉える必要があります。

そのため、子育てサークルやボランティアなど様々な地域活動団体や地域住民と協働し、家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくりを推進します。